

国家資格

高圧ガス 製造保安責任者試験

(冷凍除く)

当たり前の安心をまもる

高圧ガスは、エネルギーや原材料として、製鋼、化学、自動車、半導体など日本の産業の根幹を支える重要な役割を担うとともに、私達の暮らしの中でも日常生活に必要不可欠な存在となっています。「高圧ガス製造保安責任者」はそのような高圧ガスの製造に関係するプラントのオペレーターやエンジニアとして幅広く活躍することができる魅力的な資格です。

国家試験について

高圧法及びLP法関連の国家試験は、KHKが国及び都道府県から試験事務の委譲を受けて、毎年11月に全国一斉に実施しています。

国家試験の実施日

令和8年 **11月8日** 日

実施場所と受験料

区分	種類	書面申請	インターネット申請	実施場所(都道府県名)
大臣試験	甲種化学、甲種機械	17,800円	17,300円	北海道・宮城県・東京都 愛知県・大阪府・広島県 香川県・福岡県・沖縄県
	乙種化学、乙種機械	11,600円	11,100円	
知事試験	丙種化学(液石)、丙種化学(特別)	10,300円	9,800円	47都道府県

受験願書の入手方法

書面申請用受験願書は、7月上旬頃からKHK本支部、各都道府県試験事務所及び各都道府県高圧ガス担当窓口において配布しています。

インターネット申請用受験案内は、KHKのホームページからダウンロード可能となります。

受験願書の受付期間は、令和8年8月17日から、書面申請は8月31日まで、電子申請は9月2日17時までです。

高圧ガス製造保安責任者試験とは？

この試験は、高圧ガス保安法の国家資格を取得するための資格試験です。幻想的な工場夜景として近年注目を集める石油化学コンビナート事業所や、産業用・医療用の**高圧ガス製造事業所などにおいて最も必要**とされている資格です。多くの資格取得者は、プラントのオペレーターやエンジニアとして従事していますが、一定の実務経験を積むことで、保安主任者や保安係員といった**保安管理に関する法定責任者として活躍**することもできます。

化学と機械の違いは？

化学は、高圧ガスそのものの生成・性質、化学反応の挙動を把握し、異常時の連鎖反応を予測・防止するなど、高圧ガスの製造に際し、化学的側面から安全管理を担うための重要な資格です。機械は、高圧ガスを取り扱う設備の構造・材料や設備から予測される疲労や損傷の評価など、工学的知識をもとに設備の設計・点検・保守を担うための重要な資格です。

丙種化学(特別試験科目)と 丙種化学(液化石油ガス)の違いは？

丙種化学は甲種や乙種の資格取得に向けた入り口ともいえる資格です。丙種化学(特別試験科目)は、石油化学コンビナートや酸素、窒素、アルゴンなどの製造所等の保安に関連する資格です。丙種化学(液化石油ガス)は、国内で約4割の家庭に供給されているLPガスの製造所の保安に特化した資格です。

キャリアアップにも役立ちます！

高圧ガス製造保安責任者試験は、甲種を最上位として、甲種＞乙種＞丙種の順に階層的な区分で構成されています。資格を取得し、上位資格にステップアップすることで、**確実に活躍の場が広がり、昇進や昇給の可能性**が高くなります。また、高圧ガス保安法上、上位資格は法定責任者に選任する際に必要とされる要件の一つとなっているため、**転職の際にも非常に有利**に働きます。



資格を取得した方の声



Aさん

就職先を決める上で役立つ資格！

昔から石油化学コンビナートのスケール感に興味があったことから、卒業後の進路としては、学校で学んだ化学工学の知識を活かせるように、巨大プラント設備のオペレーターや装置の設計に関わることができるプラントエンジニアを目指して就活を進めていました。乙種機械の資格は、就職先を決める上で役立つ資格であると思い、受験することにしました。



Bさん

資格のおかげで保安係員に選任！

昔資格を取得したことで、現在、職場では職長に昇進し、高圧ガス保安法に定める保安係員に選任されています。法定責任者として周りからは期待されているので緊張感はありませんが、日々、充実感でいっぱいです。将来に向けては、甲種機械の資格を取得し、プラントエンジニアとしてキャリアアップを目指していきたいと思っています。

年齢・学歴・経験に関係なく誰でも受験できます

受験案内書等
はこちらから

高圧ガス保安協会ホームページ <https://www.khk.or.jp/>

高圧ガス保安協会 または KHK

